

CIMの普及状況(アンケート調査)

第3回活用促進WGにて報告

CIMの普及状況(アンケート調査)

<目的>

・各業界団体を通じて受注者におけるCIMの普及状況を把握することで、今後のCIM普及展開検討の基礎資料収集を目的に実施。

<実施方法等>

- ・実施期間：2018年12月11日～2019年1月18日まで
- ・回答要領：WEB回答方式
- ・有効回答数：325件（照会中の回答が別途若干数あり）

No.	業界団体名称	調査対象 所属企業数	所属企業 回答数	回答率	主な事業活動の 所属団体
1	全国測量設計業協会連合会	829	64	7.7%	25
2	日本測量調査技術協会	90	12	13.3%	0
3	全国地質調査業協会連合会	592	77	13.0%	34
4	建設コンサルタンツ協会	475	99	20.8%	79
5	日本橋梁建設協会	31	18	58.1%	16
6	プレストレスト・コンクリート建設業協会	33	19	57.6%	10
7	全国建設業協会	2881	144	5.0%	111
8	日本建設業連合会	140	66	47.1%	50
	計	5071社	499社	9.8%	325社

主なアンケート調査結果

<CIMへの取り組み状況>

- 「既に取り組んでいる」と回答した企業が139社、「積極的に取り組みたい」と回答した企業が55社、「将来的に積極的に取り組んでいきたい」と回答した企業が91社、計285社（88%）の企業が取り組むと回答している。
- このことから、回答した多くの企業がCIMへの取り組みを前向きに捉えていると考えられる。

<CIM等ソフトウェアの利用状況>

- 利用されているソフトウェアとして、ビューワと回答した企業が285社中もっとも多く198社（69%）となっており、以下3次元設計データ、点群データ活用、3Dモデリング、写真点群作成、3D統合と続いている。

<ソフトウェアの活用状況とこれからの活用意向>

- 「将来的には活用していきたい」との回答企業数が「積極的に活用していきたい」または「すでに活用している」と回答した企業の合計数とほぼ同等であったのは「VR・MR・AR等」「クラウドサービス（3D）」ならびに「各種解析系ソフトウェア」であった。
- 上記、ソフトウェア群については普上途上にあり、更なる普及促進の働きかけが必要と思われる。